

(様式5)

調査報告書

外部評価項目構成

	項目数
・理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
・安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

訪問調査日	2007年10月12日
調査実施の時間	開始 10 時 00 分 ~ 終了 15 時 30 分

訪問先事業所名 (都道府県)	グループホームやすらぎ (大阪府)
-------------------	----------------------

評価調査員の氏名	氏名 南 ヤエ 氏名 二毛 須美子
事業所側対応者	職名 管理者 氏名 小滝 とく系 ヒアリングを行った職員数 (3)人

記入方法

「取り組みの事実」欄は、ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入してください。

「取り組みを期待したい項目」欄は、今後、さらに工夫や改善が必要と思われる項目に をつけてください。

項目番号について

外部評価項目は30項目です。

「外部」にある項目番号が外部評価の通し番号です。

「自己」にある項目番号は自己評価で該当する番号です。参考にして下さい。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

【評価実施概要】

事業所番号	2771101355
法人名	医療法人 利田会
事業所名	グループホームやすらぎ
所在地	〒596-0816 岸和田市尾生町2980番地の1 (電話)072-445-9922
評価機関名	特定非営利活動法人エイジコンサーン・ジャパン
所在地	559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10 ATC ITM棟 9階
訪問調査日	2007年10月12日

【情報提供票より】(19年 9月 18日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 5 月 1 日
ユニット数	1 ユニット
職員数	9 人
利用定員数計	9 人
常勤8人, 非常勤1人, 常勤換算 7.9 人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り
	2 階建ての 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	75,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	無			
保証金の有無(入居一時金含む)	有(200,000円)	有りの場合償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,400 円			

(4) 利用者の概要(9月18日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	1 名	要介護2	2 名		
要介護3	3 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 81.9 歳	最低	75 歳	最高	89 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	(医)利田会久米田病院・(医)亀井会亀井病院・(医)おち穂会下井戸歯科医院
---------	---------------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームやすらぎは岸和田市の山手に位置し、廻りは宅地開発が進み次々と家が増えつつある地域である。道の向かい側には経営母体の久米田病院がある。1階がディケアステーション2階にグループホームがある。玄関には花壇や植木鉢があり、グループホームの利用者が手入れをしている。広いゆったりとした階段を上がるとホームになっている。施設長は外部評価を活かし少しでも「グループホームやすらぎ」を良くしたいと熱く語った。管理者は看護士で入居者の機能を回復すること、明るく生活できることを第一と考えている。向かいの久米田病院内の内科医師が頻りに利用者の健康状態を診に来てくれ健康管理は万全といえる。

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回の指摘は「入居者の生活歴・嗜好をホームの生活に活かす。ホームでの役割を果たせる取り組み」であった。良く改善されている。管理者は常に利用者の機能回復を目指し自立支援を促す努力をしていて、かなり効果も出ている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者は職員の意見を聞きながら各項目について記載した。職員も「毎日の仕事を見直すいい機会にもなる」と協力して仕上げた。昨年の外部評価報告書は家族会の時に皆さんに配り、読み上げて今後活かすように利用した。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議出席者は町会長・地域住民代表(民生委員兼介護相談員)・家族(2~3名)市(高齢者介護課)・グループホームやすらぎからは2人(施設長又は管理者と職員1人)。地域との交流・防災時の協力などを話している。「今後は婦人会・老人会の代表の参加を願えるようにしたい」と管理者は考えている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族のホームへの来訪は頻繁で何でも話してもらえ関係作りに努めている。運営推進会議へ家族が参加することで、家族が地域の行事などをホームに連絡をしてくれてホームから地域の行事参加につながってきている。家族から利用料の振込みが医療法人口座になっている、グループホームの独自の口座は無いのかとの声もあった。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 新しく出来た住宅地域からは幼稚園訪問・グループホーム見学など少しずつ交流が進んでいる。旧地域との交流は深まっていない。これから地域行事に参加することで地域との交流・連携が深まり、防災時の協力を得られるようになることを期待する。

2. 調 査 報 告 書

主任調査員氏名 南 ヤ エ / 同行調査員氏名 三 宅 須美子

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念は掲示されていたが目立たなかった。短く要約して分かり易い物を掲示されたい。居者一人々その人らしさを大切にし入居者の立場に立ったサービスの提供を職員に伝えている。		理念は利用者・家族に施設の姿勢を示し職員に対しては意欲を啓発することになる。ホームの理念は目立たない、簡単な言葉でわかり易くりビングなどに掲示されたい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	一週間に一回は必ずカンファレンスをしている。職員の定着により職員内の意見交換が活発になってきている。		3ヶ月毎に全職員が目標の言葉を出し合い、その内の一つを選んで事務室に掲示している。職員の意識を高めることになり評価できる。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の一員として行事に参加するところまではいってない。希望する利用者と近くのお寺の行事に参加している。推進会議等で地域活動への参加を要請している。		近所の新しく出来た住宅からは見学に来てくれたりしている。徐々に地域との交流が広がることを期待する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	昨年の外部評価結果は家族の方に配って読んでもらい全て明らかにして今後活かすようにしている。		外部評価を前向きに捉えこれからの施設運営の向上に活かす姿勢は施設長・管理者から良く伝わってきた。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議には複数の家族が参加している。家族の施設への協力と期待の現われと考える。</p>		<p>運営推進会議で話し合われたことを例えば「やすらぎ便り」などを作り、推進会議に出ていない家族に知らせるという方法もある。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議により市町村との交流が出来るようになり、窓口がわかりやすくなり相談しやすくなったとのことである。</p>		<p>地域からの協力をさらに得られるように期待する。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>生活に使うお金は事務所金庫で保管複数の職員で管理チェックを行っている。定期的・面会時などに家族には利用の状況を連絡している。職員人事異動は家族会で説明している。</p>		<p>家族がこられたら利用者毎に作ったアルバムを見てもらい報告している。毎年敬老の日に家族会を開いている。 家族会で外部評価報告書を皆で読んで公表している。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族の意見は前向きに活かす姿勢でいる。家族訪問時に出来るだけ意思の疎通を図っている。</p>		<p>「苦情受け取り箱」を玄関に置いているが活用されていない。どんな小さいことでも言ってもらえるように（入れてもらうように）目立つところに置くことも検討されたい。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>私事による退職、法人内異動により、職員の入れ替えが多い時期もあったが最近では定着している。</p>		<p>職員の定着率は高まり、待遇も良くなってきている。職場として魅力ある施設とすることは利用者に取り最も望ましいことになるので経営者の更なる努力を期待する。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者は各職員に資格取得を勧めている。</p> <p>勤続年数に応じて研修参加、職員の力量に応じた研修が受けられる体制作りをしている。管理者が個々の職員の資格取得のために勤務体制に配慮して取り組んでいる</p>		<p>職員のスキルアップは本人（職員）はもとより、施設にとっても必要なことである、管理者がそのために努力していることは大変評価できる。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他のグループホームの見学。</p> <p>他施設との勉強会、交流会を実践している。</p>		<p>管理者は他の同業者との交流は意義があったとの話である。今後とも交流が互いの事業所の質の向上へと発展させることを期待する。</p>
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入所前に利用体験をしている。今まで利用していたデイサービスへの送迎等も実施している。</p>		<p>今後も希望に添って入所に馴染んでもらえるように支援を続けていただきたい。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者の方から学ぶことは大変多く人生の先輩として尊敬しつつ支援している。</p>		<p>利用者はホームで家庭の一員のように出来ることは職員と一緒にしている。</p> <p>食事の後の方付け・残飯を向かいの病院の資源リサイクル場所への運搬など「私の仕事」という様子が垣間見られた。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>家族からの情報提供と利用者との日常の対話からその人の希望を聞き出し、ケアプランに活かすように努めている。</p>		<p>"固定観念を持たない"との構えで何事にも取り組んでいるとの事—その精神を皆さんで推し進めて頂きたい。</p>
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>必要に応じて介護計画の見直しをしてる。計画作成者が管理者と兼務している為日々本人、家族と接しており、暮らしに密着した計画を作成している。</p>		<p>介護計画見直しに関しては問題は無い。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>大きな変化時には介護計画を修正している。モニタリングを記入しているがスタッフよりの計画見直しの意見は少ない。</p>		<p>利用者に体調の変化があると事業主体の病院の内科医が直ぐに対応してくれる。 又管理者も看護師としての経験も長いので医師の指示に対応が出来ることは利用者・家族は安心できる。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>デイケアには地域の方であったり顔見知りの方も利用されています。本人の要望があれば交流の機会を持っています。散歩時にはあいさつをしたり対話したり一緒に行動する事もあります。</p>		<p>近隣の方々との交流も見受けられるので、今後とも地域の住民として交流を深めて行って欲しい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	併設病院の医師が主治医となっており休日、緊急時はすぐに対応していただけます。		併設病院の医師は入居者の症状について説明に来られ、ちょうど外部評価訪問時立ち会えた。利用者・家族には心強いことである。入所前のかかりつけ医師・歯科・耳鼻科への通院は本人の意向に沿って支援している。
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	入居時に家族さんに方針を説明している。本人、家族さんと終末期についての話し合いは早い段階で行っている。		終末期について話し合ったことを文章として残しておくとうまい。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	個人情報である記録等は保管場所を決め、施錠できるようになっている。居室への訪問は必ず声かけ、言葉使いについては職員同士で注意しあっている。		運営規定に退職者に対しても職務上知り得た情報の秘密厳守を求める条項を定めている。
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にしたい、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	朝のコーヒーの時間に日課を決めます。外出先も各個人の希望にそった場所へ行けるよう支援しています。入眠、起床時間は決めていません。本人のペースで行っています。		朝のコーヒータイムに散歩のことを話し合うというのはほほえましい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事は1階のデイケアで作られた高齢者用のものをホームでも利用している。利用者が盛りつけ職員一人が険食をかねて利用者と食べる。他の職員は介助・見守りをしている。職員は食事が終わったらお弁当を食べている。食器洗いは利用者と職員と一緒にしていた。刻む必要のある利用者には食べ易い形にして提供している。</p>		<p>職員のお弁当持参はお弁当時に休憩を取るためということである。</p> <p>休憩時間は他の時間を決めて職員も一堂に会して食事をする 것을検討して欲しい。朝食のパンは利用者の要望を入れて菓子パンを日替わりで用意している。果物は朝と昼、夜はデザートがある。</p>
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴の時間帯は決めています。曜日も決めています。本人のタイミングや希望により臨機応変に対応しています。</p>		<p>家族の中に「一人でお風呂に入れる利用者には毎日入浴」の希望があったが、一人ではいられない人はいない。なるべく利用者の希望に添って対応されることを望む。</p>
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>玄関の花壇・植木鉢（個人別）で花を育てたり、食器洗い、洗濯干し、たたみ、亀の世話等して。日課で竹踏み社交ダンス等がある。管理者が書道・折り紙教室を月1回のペースで開いている。作品はリビングや居室に飾ってあった。</p>		<p>各々の作品が展示され、来訪者も思わず見入ってしまう程の出来栄えー充実した時間の流れが伺える。</p>
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>10:00のお茶の時間に日課を決める。猛暑、雨、極寒以外は散歩を希望がある為、時間調節にし毎日出掛けている。</p>		<p>各自の希望に添って外出をしている。無理強いをせず、体調に合わせて外出を楽しんで欲しい。</p>
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>9:00～17:00の間は鍵をかけず開放している。ベランダへの出入りも自由。新入居者の方で外出傾向のある時は家族にも説明して一時的に閉めることがある。</p>		<p>2階にホームがあるが鍵を掛けないで充分対応できている。夕方自宅に帰るという利用者（毎日）にも職員が優しく表までついて行き少し散歩してホームに戻ってきた。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>災害に備え避難方法や避難経路、連絡網はマニュアルを使っており日頃から意識し対応している。地域の協力が得られる取り組みがない。</p>		<p>夜間に災害が起こった時・地震の時など心配は尽きないが消防署と今後も対策について話し合いを続けられたい。</p> <p>災害時の地域の協力は今後の課題である。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養士の献立による食事提供をしている。水分量が確保出来るよう支援している。</p>		<p>水分摂取量・排泄の記録は取られている。今後は利用者個人の介護日誌にも記入されたい。</p>
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>廊下は中庭よりの採光を取り入れる事が出来明るく、日当たりもいい。トイレ内は広く使用しやすい。</p>		<p>リビングは広くソファもあるが、共用空間に一人になる居場所はない。高齢者が横にもなれるソファベッドのようなものをリビングのどこかにあれば尚良い。</p>
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人、家族の意向を聞いて家具や思い出の品を置いている。</p>		<p>居室はそれぞれの個性があり利用者の趣向に添ってしつらえている。</p>

は、重点項目。